

投票日 **4/7日** 埼玉県議会議員一般選挙が行われます

問合せ●小鹿野町選挙管理委員会 ☎75-1221 (役場総務課内)

投票の方法

投票日当日の7時から20時までに入場券に記載されている投票所に、入場券を持参して投票してください。ただし、右の投票所は終了時間が早まりますのでご注意ください。

期日前投票

期間●3月30日(土)～4月6日(土)

時間●8:30～20:00

場所●小鹿野期日前投票所
(小鹿野町役場・小鹿野庁舎1階)

郵便投票

身体に重度の障害のある人及び要介護認定において介護度5と認定された人などで、郵便投票証明書の交付を受けている場合には、郵便による投票ができます。詳しくは町の選挙管理委員会へお問い合わせください。

開票

開票は即日開票で、投票日の21時から小鹿野文化センターで行われます。

19時まで

- 第9投票所(三ヶ原集会所)
- 第10投票所(三田川第11区集会所)
- 第11投票所(日尾集会所)
- 第12投票所(長久保集会所)
- 第13投票所(八谷集会所)
- 第14投票所(上郷生活改善センター)
- 第15投票所(両神下薄農民センター)
- 第16投票所(両神農林センター)
- 第19投票所(両神小森館)

18時まで

- 第17投票所(両神上薄生活改善センター)
- 第20投票所(両神第12区集会所)

17時まで

- 第18投票所(旧両神小学校出原分教場)
 - 第21投票所(両神僻地保健福祉館)
- ※今回の選挙では、第4投票所が信濃石会館から泉田会館へ変更しています。

地域おこし企業人

石塚からのひとこと

立教大学観光学部マップ作成意見交換会

1月19日(土)役場会議室にて、立教大学観光学部学生が進めているまち歩きマップ作成についての意見交換会が実施されました。

同大は地域活性化への貢献を目的に武蔵野銀行と産学連携協定を締結し、これまで幸手、新座、加須などのマップを手掛けております。当町においても、町と武蔵野銀行が包括連携協定を結んでいることから、学生による町のマップ作成を進めています。

意見交換会は、マップ作成の途中でご意見を伺いたいという学生の希望で実施しました。

学校側からは指導教授の舩谷先生、社会連携教育課の三浦様、9名の学生、そして武蔵野銀行地域サポート部の四條様、町側からはゲストハウスおがのの北川様、地域おこし協力隊3名、役場の若手職員おがの創生プロジェクトチームのメンバー4名にご参加いただきました。

私も同大OBであることから窓口となっており、参加させていただきました。

学校側のプレゼンは6名の1年生を中心に行われました。単位に加算されない活動にもかかわらず自ら希望して活動している学生の意識はかなり高く、昨年7月からの活動開始後、6～8回の来町を重ねています。非常に興味深いプレゼンでした。



また、町側からの参加者は、学生からの質問に対し、地元に住む方ならではの生の貴重な情報を提供していただきました。

マップ作成はあくまで授業の一環でありますので、商売抜きの内容であり、すべての観光施設やお店を網羅しているものではないこと、ご理解をいただきたいと思っております。完成は7月の予定です。

昨今いろいろな自治体で、若者目線やよそ者目線が大切といったことを耳にします。私はそれはそれでもとても大切なことと思うものの、それだけではなくこの町に生まれ育ち、根を張って生活している方々、若者だけではなくご年配の方々の目線は欠かせないと思っております。

このマップが、観光に訪れた方だけでなく、町内の皆様にも地元の良さを再認識していただくきっかけとなれば幸いです。

地域おこし企業人 石塚 浩哉



第5回 海外からの移住者へのインタビュー

インド生まれの山内サリタさんは、昨年7月に、兵庫県神戸市から移住してきました。これまで、インドネシア、マレーシア、大阪など、様々な地域での居住経験があるそうですが、現在、小鹿野町でどのような活動をされているのでしょうか。

—小鹿野町に移住した理由を教えてください。

「牛を飼っていた幼い頃の生活をもう一回やりたくて、牧場で働きたいと親戚に話していたところ、吉田牧場を紹介してもらい小鹿野町に来ました。」

—広い敷地でたくさんの牛をお世話する仕事、私も見学させていただきました。その他にも多様な活動をされているそうですね。

「兵庫県ではインド料理店をやっていたこともあり、小鹿野町でもインド料理の教室をしています。また、友人の山口幸男さんと一緒に、アジアの文化を紹介する動画配信、聖書を学ぶ会もしています。あとは、引きこもりや不登校の方のケアをしています。」

「将来的には、日本で希少なアジア特有の野菜をみんなで作りたいとも考えています。教えるのではなく『一緒にやりませんか』『教えてくださいませんか』という気持ちでやっています。その方が、彼らに『自分が役に立っている』と実感してもらえます。」

—教師もなさっていたからこの視点でしょうか。小鹿野町もしくは日本の印象はいかがですか。

「時間に正確なことやインフラが整っていることなど、良い面もあります。海外では日本の生活は大変興味を持たれています。一方で、イジメや心の病気で困っている人は他国より多い。日本の子どもたちには、もっと自信と夢を持ってほしいです。」



山内サリタさんと友人の山口幸男さん(右)

—最後に、こんなサポートが欲しかった、ということはありませんか。

「特にはないです。外国人は特に自分からコミュニケーションしたほうがいい、相手からは話しかけづらいだろうし。引越しの時は、吉田牧場の社長さんや友達が生懸命サポートしてくれました。」

「ただ、みんなが集えるような一戸建ては今も探しています。ちょっと古くても、自分たちで直せます。貸せる一戸建てを知っているという方がいらっしゃいましたら、ぜひ、ご一報ください。場所は吉田牧場近辺が理想です。」



先日、私も料理教室に伺いましたが、一緒に作って食べる、とても楽しい会でした。次回予定は3月16日です。

多様な文化を持つ人たちが、この町で時間や体験を共有するといった機会が増えると、お互いの生活がさらに楽しく豊かになりそうですね。



↑次回の料理教室について詳しくはコチラをご覧ください。

地域おこし協力隊 本奈代子

問合せ●おがの移住相談窓口 ☎75-1238 (小鹿野庁舎・総合政策課内)

～勝つためのデジタル化を学ぼう～小鹿野発! 『ITセミナー』開催

デジタル化(IT、IoT、AI...)について知り、事業での活かし方・取組み方を一緒に考えて、勝つ経営を目指しませんか?

日時●3月19日(火)14:00～16:30

場所●小鹿野文化センター・大会議室

対象●小鹿野町に事業所・店舗がある企業経営者・実務責任者(業種は問いません)

定員●40人(1社2人まで)

費用●無料

内容●①「デジタル化活用の現状について」

講師:関東経済産業局 地域経済部 次世代・情報産業課 小泉悦男 氏

②「デジタル革新の定着に向けて」
講師:武蔵野銀行 地域サポート部 特別顧問 山本碩徳 氏

③参加者との意見交換・情報交換

申込&問合せ●両神庁舎・産業振興課 ☎79-1101